



Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

感染症発生動向調査／東京都北区感染症週報

2013年51週（平成25年12月16日～平成25年12月22日）

東京都北区感染症情報センター 電話 03（3919）3102

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。

東京都北区感染症週報では、感染症発生動向事業に基づき最新の感染症情報を公開しています。

東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j/>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr-dl.html>

I 感染症別報告数（週別推移）

1.全数把握対象感染症（主なる）

対象疾患	2012年	2013年							
	累計	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	累計
（二類感染症） 結核	122	4	1	3	3	2	3	1	126
（三類感染症）	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	4	0	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	5	0	0	0	0	0	0	7
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
（四類感染症）	E型肝炎	1	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	1	0	0	0	0	0	0	3
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
（五類感染症） 全数報告	アメーバ赤痢	3	0	0	0	0	0	1	6
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	0	0	0	0	0	0	0	1
	急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	後天性免疫不全症候群	3	0	0	0	0	0	0	4
	ジルアアジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	0	0	0	0	0	2
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	9	0	0	0	0	1	0	59
	麻しん	1	0	0	0	0	0	0	1

2.定点把握対象感染症（月報告）（五類感染症）

対象疾患	定点 医療 機関数	2013年							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数
性器クラミジア感染症	1	0	1	0	0	0	0	2	1
性器ヘルペスウイルス感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
尖圭コンジローマ	1	0	3	2	2	2	2	1	3
淋病感染症	1	0	0	0	0	1	1	1	1
トリコモナス症(注)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒様疾患(注)	1	0	0	1	0	0	0	0	0

(注3) トリコモナス症、梅毒様疾患は東京都が独自に指定する疾患。

3. 定点把握対象感染症(週報告) (五類感染症)

対象疾患	定点 医療 機関数	2013年							
		48週		49週		50週		51週	
		報告数	報告数 ／ 定点	報告数	報告数 ／ 定点	報告数	報告数 ／ 定点	報告数	報告数 ／ 定点
RSウイルス感染症	7	0	0.00	1	0.14	4	0.57	0	0.00
咽頭結膜熱	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	3	0.43	12	1.71	18	2.57	15	2.14
感染性胃腸炎	7	228	32.57	293	41.86	239	34.14	158	22.57
水痘	7	13	1.86	9	1.29	7	1.00	23	3.29
手足口病	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
伝染性紅斑	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	7	7	1.00	3	0.43	5	0.71	3	0.43
百日咳	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎	7	0	0.00	0	0.00	3	0.43	0	0.00
川崎病(注1)	7	0	0.00	1	0.14	0	0.00	0	0.00
不明発しん症(注1)	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
インフルエンザ(注2)	11	6	0.55	12	1.09	13	1.18	5	0.45
急性出血性結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

II 概況

■ 全数報告感染症

結核1件、アメーバ赤痢1件の発生の届出あり。その他感染症の発生の届出はなし。

■ 感染性胃腸炎

北区の発生件数は警報レベルとなっています。

第50週の34.14から第51週22.57と減少しましたが、依然、警報基準値(20.00)を超えて感染は続いています。

集団での感染も続いており、家庭、学校及び施設等における予防対策、並びに食品を扱う方の食中毒対策の徹底等に、万全を期してください。

● 感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■ インフルエンザ

第50週1.18(A型10件、B型2件、不明1件)から第51週0.45(A型2件、B型3件)と、減少しましたが、例年の傾向より、今後の流行が懸念されます。

家庭、学校及び施設等での咳エチケットの徹底等の感染予防対策を万全を期してください。

● インフルエンザの予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062015.htm>

■ その他の定点感染症

水痘、A群溶血性レンサ球菌及び突発性発しん等の発生がみとめられますが、特異な発生には至っておりません。

III 医療機関からのコメント

■ (王子地区) インフルエンザはB型1名

■ (赤羽地区) 八か月女児の水痘は母親の帯状疱疹から感染。

■ (滝野川地区) インフルエンザA型2名、B型2名。感染性胃腸炎の患者は全年齢でかなり多いです。

■ (王子地区) インフルエンザはみられません。感染性胃腸炎は相変わらず流行しています。

IV 注意情報・お知らせ

■ 感染性胃腸炎の流行について

感染性胃腸炎の患者発生は、例年、12月の中旬頃にピークとなる傾向にあり、感染者が食品の調理に従事することによる食中毒も多発しています。手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策に心がけてください。

● 厚生労働省Q&A <http://klsvinwm23.city.kita.lg.jp/wmcgi/WMBridge.exe>

● 感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■麻しん

国では、麻しんに関する特定感染症予防指針を改正し、平成27年度までに麻しんの排除を達成する目標を掲げ、2013年4月1日より適用されることとなりました。

麻しんの定期予防接種の対象者で未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

●予防接種一覧 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>

●麻しんに関する特定感染症予防指針 <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002jsve-att/2r9852000002jsyl.pdf>

■都内における風しんの流行について

東京都では、これまでにない規模の風しん流行が継続している旨の注意喚起を行いました。

妊婦への感染には特に注意してください。

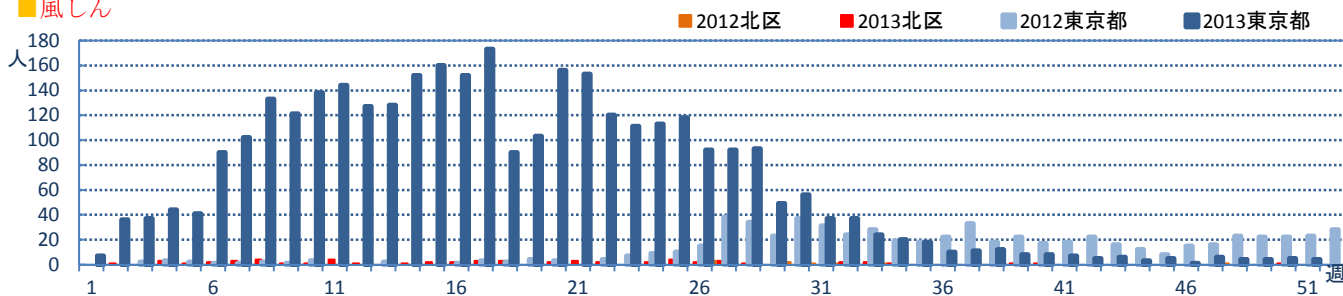
●東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2013/02/20n27500.htm>

●風しんの発生状況（東京都2013年） <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

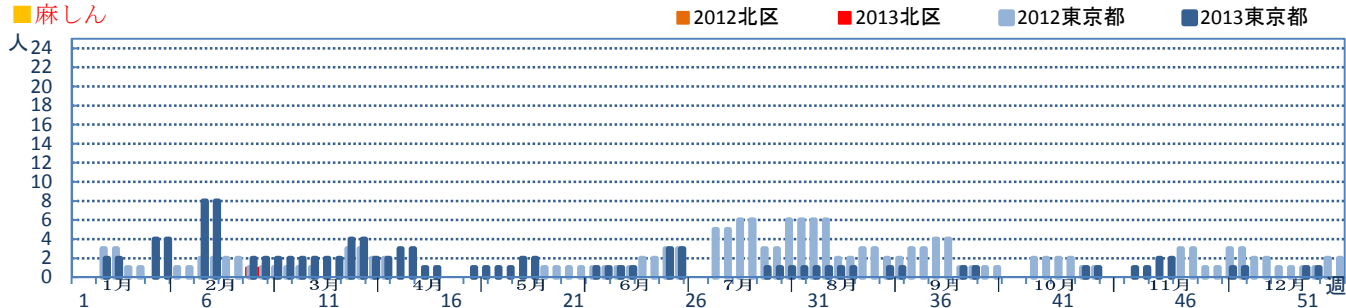
V 感染症別グラフ

1.全数把握対象感染症

■風しん



■麻しん



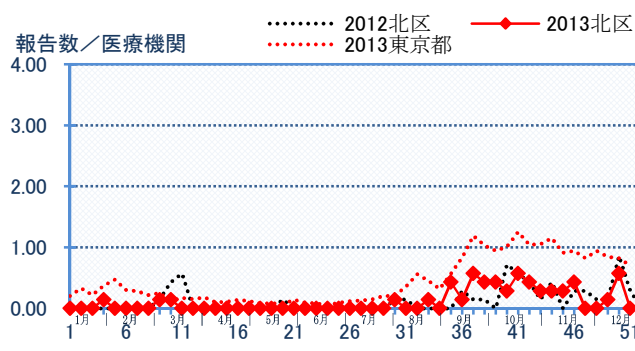
2.定点把握対象感染症(週報告) 内科定点

■インフルエンザ

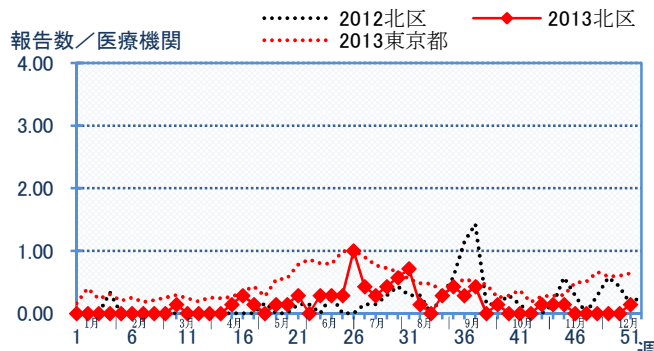


3.定点把握対象感染症(週報告) 小児科定点

■RSウイルス感染症



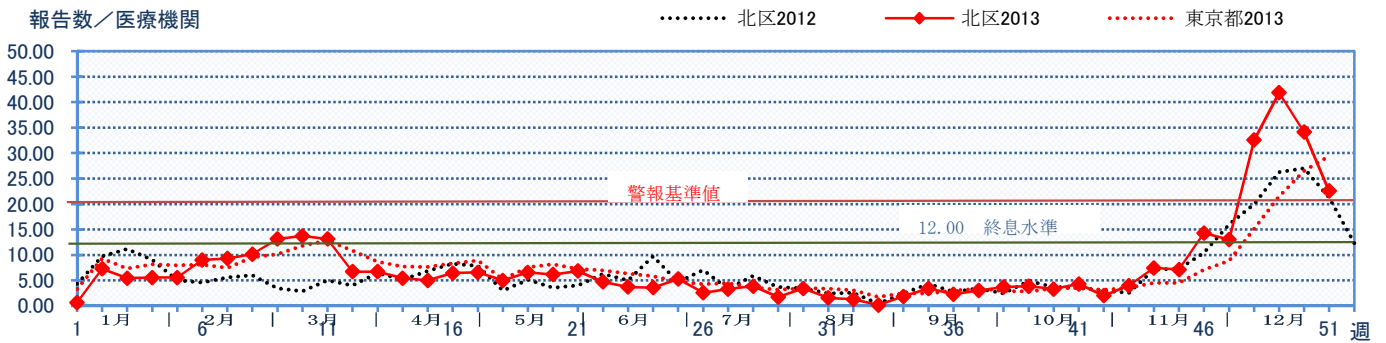
■咽頭結膜熱



■ A群溶血性レンサ球菌



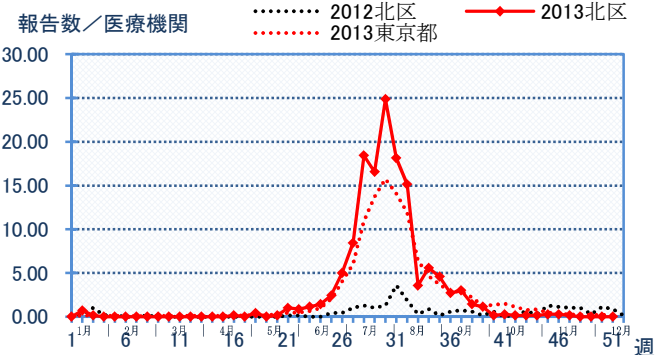
■ 感染症胃腸炎



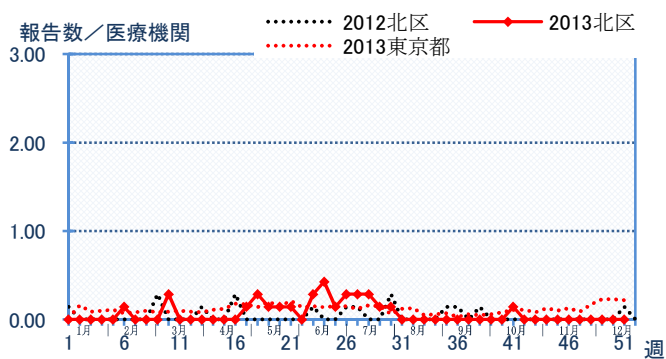
■ 水痘



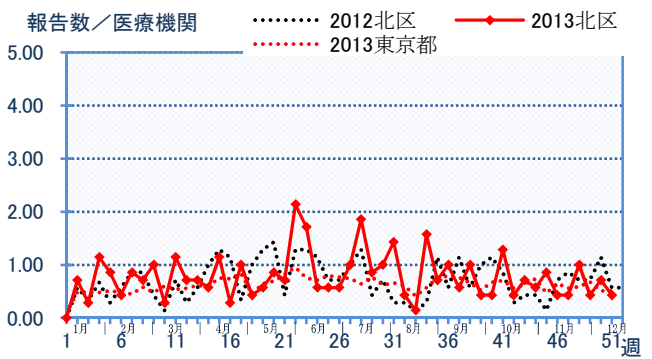
■ 手足口病



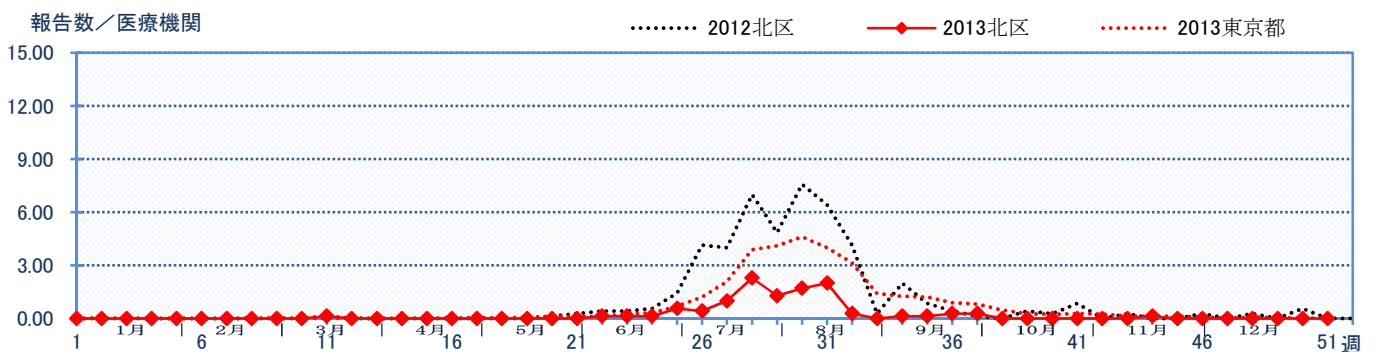
■ 伝染性紅斑



■ 突発性発しん



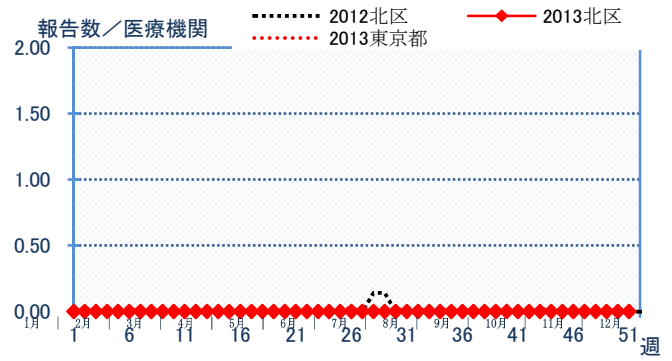
■ ヘルパンギーナ



■流行性耳下腺炎

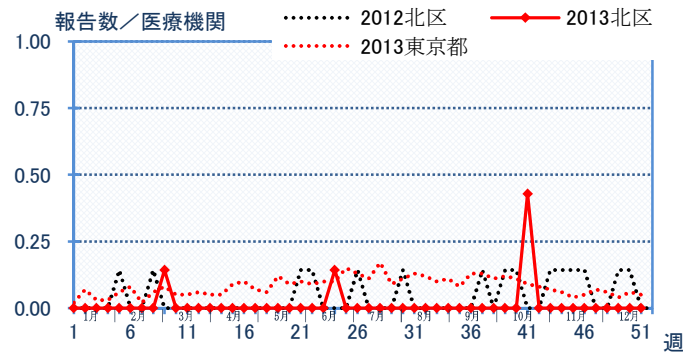


■百日咳

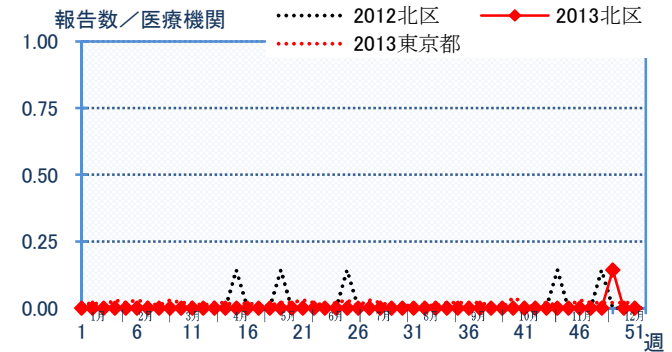


4.東京都独自指定疾患

■不明発しん症

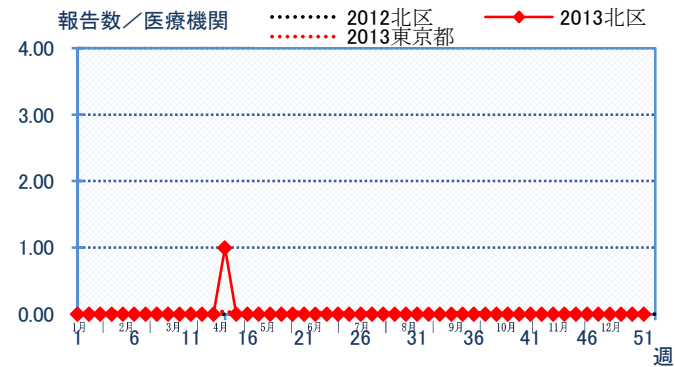


■川崎病

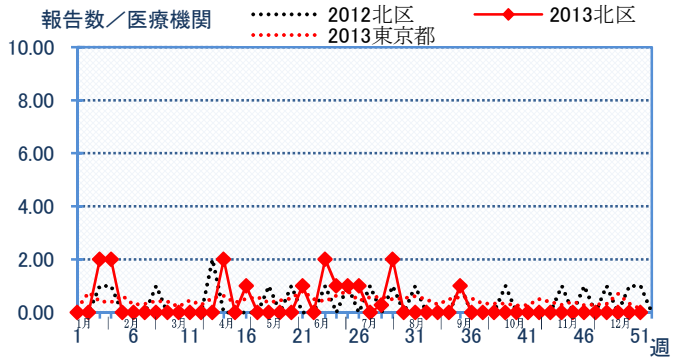


5.定点把握対象感染症(週別) 眼科定点

■急性出血性結膜炎



■流行性角結膜炎



6.定点把握対象感染症(月報告) 性感染症

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である以下の性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までの結果を掲載しています。

※2013年12月分は2014年第1週にて公開予定です。

■性感染症

